

団体名： 名古屋大学とよた日本語学習支援システム

<団体紹介>

豊田市には多くの外国人が生活しています。そのほとんどは日本語学習の機会に恵まれないまま生活しています。豊田市は誰もが日本語を学び、誰もが日本語を使って参加できる社会を目指し、平成 20 年度から名古屋大学と共働で「とよた日本語支援システム」を運営しています。とよた日本語学習支援システムはガイドラインに基いて「地域に密着し交流の要素を兼ね備えた日本語教室」の開設・運営支援を行い、外国人だけではなく支援する日本人も学習の対象とし、地域全体で豊田市の日本語学習支援を盛り上げています。



<IT・通信による日本語教育（教材・ツール）の概要>

1) iPhone アプリ 漢字学習「市役所に行こう」(iPadでも利用可)

- 課題 外国人住民にとって市役所の窓口を探したり、手続きをすることはハードルが高い
- 目的 市役所で使われている日本語や漢字を楽しく手軽に学習する
- 対象 ひらがなやカタカナが読める人
- 内容 以下の画面参照



2) とよた日本語 eラーニング

- 課題 仕事などの都合で日本語教室で勉強することが難しい
- 目的 基本的な社会行動が日本語で行えるレベルまで上達すること
- 対象 自宅で好きなときに日本語の基礎を勉強したい人
- 内容 「市役所」「病院」「学校」などにおける日本の社会の仕組みとそこでの会話の両方が同時に学べます。また文字（ひらがな・カタカナ）や履歴書の書き方も練習できます。

